

和歌山県立近代美術館・博物館の 建築とデザイン

出品目録

2026年9月29日(火)～11月29日(日)

1

菊竹清訓・川添登・大高正人・槇文彦・黒川
紀章【著】『メタボリズム 1960』

1960年
美術出版社刊行
当館蔵

ジャケット：メタボリズムⅠ 未来の都市
表紙：METABOLISM/1960
扉：metabolism 都市への提案 THE
PROPOSALS FOR NEW URBANISM
奥付：メタボリズム 1960
〔ジャケット、表紙、扉、奥付でタイトル表記が
異なる〕

本文に印刷の奥付：
First Edition April 1960
Printed in Japan ©
By the Bijutu Syuppan Sha, Masao Oshita
President
At the Toppan Printing Co., Ltd. and Saito
Process Co., Ltd.

紙片貼付の奥付：
1960年7月15日発行
編集人 川添登
発行人 大下正男
本文印刷 凸版印刷
扉印刷 斉藤プロセス
発行所 美術出版社

川添登による巻頭文：
「メタボリズム」とは、来たるべき社会の姿を、具
体的に提案するグループの名称である。
われわれは、人間社会を、原子から大星雲にいたる
宇宙の生成発展する一過程と考えているが、とくに
メタボリズム（新陳代謝）という生物学上の用語
を用いるのは、デザインや技術を、人間の生命力の
外延と考えるからに他ならない。したがってわれ
われは、歴史の新陳代謝を、自然的に受入れるので
はなく、積極的に促進させようとするものである。
今回は、建築家による都市の提案でまとめられた
が、今回は、各分野のデザイナーや美術家、技術者、
科学者、また政治家など、多分野からの参加が予定
され、すでにその一部は準備を始めている。われわ
れのグループそのものも、たえまない新陳代謝を続

けていくであろう。

目次：
海洋都市＝菊竹清訓 6 / 物質と人間＝川添登 40 /
群造形へ＝大高正人＋槇文彦 52 / 空間都市＝黒川
紀章 70

＊日本初の国際デザイン会議「世界デザイン会
議」が1960年5月11日から16日まで、東京
の大手町産経会館で開催された。黒川たちはそれ
に合わせて『メタボリズム 1960』2000部を自
費出版し、会場で売って歩いた。メタボリズム・
グループの記念碑的な書籍
メタボリズムは、グループの名前であり、小冊子
のタイトルであり、マニフェストだった

＊奥付本文用紙に印刷された発行月が4月で、糊
付けされた奥付では7月となっている。おそらく
世界デザイン会議までに製本が間に合わず、簡易製
本の冊子を頒布した後、一般書籍としてハードカ
バー版が7月に刊行されたと考えられる

2

黒川紀章【著】『ホモ・モーベンス 都市と人
間の未来』

1964年初版/1976年10版
中央公論社刊行（中公新書198）
当館蔵

序章 ホモ・モーベンスとは何か
第1章 ホモ・モーベンスの環境
第2章 ホモ・モーベンスの条件
第3章 ホモ・モーベンスのすみか
あとがき

「第3章 ホモ・モーベンスのすみか」の最後が
「カプセル宣言」第1条～第8条となっている

3

黒川紀章【著】『黒川紀章の作品』
函、レコード

1970年
装丁デザイン：粟津潔
美術出版社刊行
個人蔵

黒川紀章のコンセプトをビジュアルで伝えるアート
ブック
函と同じデザインのポスターと、レコード付

レコードは、一柳慧作曲「MUSIC FOR LIVING
SPACE」（1969）。グレゴリオ聖歌で始まり、黒
川紀章の声をもとにしたというコンピューター音

声がカプセル宣言第一条から第六条までを読み上げる。心臓音で終わる

4

黒川紀章〔著〕『黒川紀章の作品』 本

1970 年

装丁デザイン：栗津潔

美術出版社刊行

個人蔵

！ CAPSULE EXPO'70 空中テーマ館 1970

5

黒川紀章が EXPO'70 で空中テーマ館を担当 するに際して集めた資料

ヨナ・フリードマン〔著〕

『モバイル・アーキテクチャ』第 2 版

1962 年（初版 1958 年）

黒川紀章建築都市設計事務所蔵

＊『モバイル・アーキテクチャ』は、ヨナ・フリードマンが 1958 年に発表したマニフェストで、同年設計した「空間都市」の構想と「可動式建築」の概念が提示されている。黒川とヨナ・フリードマンの交友は 1969 年に始まった

6

黒川紀章が EXPO'70 で空中テーマ館を担当 するに際して集めた資料

『アーキグラム』7 号（インターナショナル・アイデア）

1966 年

オフセットリトグラフ

黒川紀章建築都市設計事務所蔵

＊「アーキグラム」は 1961 年から 1976 年にかけて活動した 6 人組の「ペーパー・アーキテクチャー」の建築家グループ。黒川紀章とは 1969 年に交友。ピーター・クックとデビッド・グリーンの 2 人が雑誌『アーキグラム』第 1 号（1961 年）、第 2 号（1962 年）を発行し、第 3 号（1963 年）からウォーレン・チョーク、デニス・クロンプトン、ロン・ヘロン、マイケル・ウェブが加わって 6 人となった。雑誌は第 9 号（1970 年）まで続いたとされるが、黒川紀章が集めた資料には第 7 号と記されたシート状の刷り物が 7 種類ある

展示しているのは、イエール大学建築学部の人 3 人の学生、アーサー・ゴールディング、クレイグ・ホ

ジェット、ダグ・ミシェルズがアーキグラムの「ブラグイン・シティー」に着想を得て制作し、アーキグラムの事務所にオマージュの意を込めて送ったという「マックス・ハウジング・プロジェクト」のアクソメ図。モジュールがクレーンで吊り下げられ、フレームに組み込まれようとする様子が鮮やかな青インクで刷られている

7

黒川紀章が EXPO'70 で空中テーマ館を担当 するに際して集めた資料

モシェ・サフディ設計「アビタット・プエルトリコ」パンフレット

1968 年

黒川紀章建築都市設計事務所蔵

＊シンガポールの「マリーナベイ・サンズ」で知られる建築家モシェ・サフディは 1967 年、29 歳の時にモントリオール万博で「Habitat 67（アビタ 67）」を発表した。コンクリートのブロックを積み上げた 146 戸の集合住宅で、モジュールの組み合わせでありながら、多様性と非画一性、個人の空間が実現された。黒川紀章は EXPO'70 に関わることになった際に、万博後のモントリオールへ赴いて視察している

黒川が保存していた「Habitat Puerto Rico（アビタット・プエルトリコ）」パンフレットは、サフディが「アビタ 67」の後継として設計したプロジェクト。建設が始まったが途中で政府が財政支援を撤回したため、30 戸を設置したところで 1970 年に未完のまま終わった。黒川とサフディとの交友は 1969 年のことである

8

「中銀カプセルマンション（銀座） Business Capsule」販売パンフレット

1970 年頃

個人蔵

東京の銀座周辺を俯瞰するカラフルなイラスト

9

「竣工記念 中銀カプセルタワービル 中銀カプセルマンション（銀座）」

ミニチュアライト

1972 年

個人蔵

底面：
昭和 47 年 4 月 5 日
設計開発監理 株式会社黒川紀章建築・都市設計事務所
施工 大成建設株式会社
カプセル製作 株式会社大丸
施主 中銀マンション株式会社

10
「中銀カプセルタワービル完成
本社竣工記念」パンフレット
1972 年
個人蔵

11
「株式会社黒川紀章建築都市設計事務所」
パンフレット
2023 年
当館蔵

表紙は中銀カプセルタワービル建設時の写真（撮影 大橋富夫）。カプセルがクレーンで吊り上げられている

12
中銀カプセル 模型
黒川紀章建築都市設計事務所蔵

13
「和歌山県立美術館・博物館 建設工事」
パンフレット
1991 年
和歌山県 刊行
当館蔵

15
和歌山県立近代美術館 基本設計報告書
1990 年
黒川紀章建築・都市設計事務所
当館蔵

16
和歌山県立博物館 基本設計報告書
1991 年
黒川紀章建築・都市設計事務所
当館蔵

17
Kisho Kurokawa Recent Projects
– 4 Museums
【黒川紀章 近年のプロジェクト
4 つのミュージアム】
カタログ
1993 年
イギリス王立美術館 刊行
当館蔵

イギリス王立美術館で開催された黒川紀章展のカタログ
ヴァン・ゴッホ美術館新館、ルーヴァン・ラ・ヌーヴ美術館、和歌山県立近代美術館・博物館、愛媛県総合科学博物館の計画が紹介されている
表紙は愛媛県総合科学博物館、裏表紙は和歌山県立近代美術館・博物館の計画図

18
和歌山県立近代美術館 庇のトラス構造 模型
1990 年頃
当館蔵

建設計画を和歌山県知事にプレゼンテーションする際に制作されたもの

19
Kisho Kurokawa
Abstract Symbolism
【黒川紀章 アブストラクト・シンボリズム】
1996 年
l' Arca Edizioni 刊行
当館蔵

イタリアの建築・デザイン専門出版社から出版された黒川紀章の作品集。イタリアの建築史家 アルド・カステラーノ（Aldo Castellano）による前書。黒川紀章による概説。表紙に和歌山県立近代美術館・博物館

20
和歌山県立近代美術館・和歌山県立博物館
模型 1/200
1994 年
石膏ほか
当館蔵

21

和歌山県立近代美術館 庇先端部

原寸ディテール

1997 年

アルミ板

当館蔵

22

和歌山県立博物館 換気窓 原寸ディテール

1997 年

ガラスほか

当館蔵

23

フラクタルシリーズ ドアハンドル (3 点)

1997 年

アルミキャスト

当館蔵

24

フラクタルシリーズ ドアノブ (3 点)

1997 年

アルミキャスト

当館蔵

25

フラクタルシリーズ ハイバックチェアー

原寸ディテール

1997 年

木

当館蔵

26

和歌山県立近代美術館 ミュージアムショップ

庇原寸ディテール

1997 年

アルミ板、木、アクリル板

当館蔵